



Fuzokugimu_mathematics

数学集会



(委員長から全体へ説明)



(問題を探す子供たち)



(問題を見つけて考える子供たち)



(仲間と共に考える子供たち)



(次の問題を探しに行こう!!)



(先生方も考え中…)

「得意な人も苦手な人も**楽しめる**」という数学委員長の想いをもとにひらかれた数学集会。例年は、学年ごとに分かれてグループで課題に挑戦する形で行われてきましたが、今年度は全校で集まってクイズラリー形式で開催!!そこには数学委員長や数学委員の子供たちの想いが詰まっていました。数学委員長は、「私は数学が苦手だったので、苦手の子でも参加できるものにしたい!!」と常に言っていましたし、副委員長も「今年度こそ全校で数学集会をしたい!!」と強く願っていました。そして、その想いに応えようと数学委員の子供たちも一生懸命に問題を考えました。問題の難しさを「初級」、「中級」、「上級」の3段階に分け、誰もが問題に取り組めるように工夫しました。数学集会で出題された問題は、合計30問!!特別教室や体育館の壁に問題が貼られ、全校生徒が問題を探し、仲間と共に問題に取り組んでいました。数学集会を終えた、数学委員長と副委員長は、このように集会をふり返っています。

数学委員長

「今回の数学集会は、今までとは異なり数学が得意な人も苦手な人も楽しめるというテーマを元に全校生徒で実施しました。全員が楽しめるルールを決めたり、全校でやるからこそその問題点の解決策を考えたりするのがとても難しかったです。でも、数学委員全員で協力して、『チーム戦ではなく個人戦にする』などの多くのルールを決めることができました。それにより、集会を無事終わらせることができたのでとてもよかったと思いました。」

数学副委員長

「うまくいったことはチーム戦ではなく個人戦にしたことで一人一人ができる問題をじっくり考えることができていたことです。しかし、個人戦にしたことで、みんなで答えを共有されて、みんな同じ答えになっているようなことが起きてしまいました。だから、次やってもらうときは答えを共有されないように工夫してほしいと思いました。」

この2人の強い想いが、今回の数学集会の成功につながったと思います。2人のがんばり、数学委員会の協力、そして、真剣に問題に取り組んだ全校生徒に感謝の気持ちしかありません。貴重な経験をありがとうございました!!

2025年10月28日